



わたしと、ボランティア。③

年代問わず、多くの方にとって、自然災害でのボランティアが、活動のきっかけになったという方が、多くいらっしゃいます。「年寄りに見られんように」と、チャームポイントの帽子にたくさんのキーホルダーやリボンをつけておられるSさん90歳！も、そのお一人。ボラセン登録24年！「昔のことで覚えてへんけどな～」と記憶をたどりながら、お話をしてくださいました。

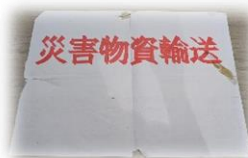


❓ボランティアをはじめたきっかけは

▶60歳の頃。それまではいわゆる「ボランティア」は参加したことがなかったけど、なにか人の役に立つようなことがしたいと興味は持ってて、ちょうど阪神・淡路大震災のときに参加するようになってん。

❓一番はじめに参加したボランティアは

▶震災での炊き出しの手伝い、仮設住宅での安否確認の声かけ、仮設トイレの片付け。被災した地域に車でかけつけるときに乗せる当時の案内表示も、大切に残してるで。→



❓これまで参加してきたボランティアは

▶ご近所さんの通院付添や車で送迎。当たり前やけど「わし、ボランティアで〇〇さん送迎してますねん」なんて外では言わへんで。そなん言うたら「Sさんお節介なことしてるわ～」「えらそぶって…」なんて陰で何言われるかわからんからな。えらそぶる気はさらさら無いし、外に出るついでやから一緒に行ったらかいな～の気持ちやねん。

(ボラセン・コーディネーター談↓)

▶豊岡や福知山の水害時は社協のボランティアバスに参加され、土砂のかき出し、農具倉庫の片付けなど、かしごと率先して活動され、他にも障がい者施設でのお手伝い、街頭募金、市外の団体でのお弁当作り等、多種多様な活動に参加されています。



❓90歳でも日々ボランティアに参加されている、元気の秘訣は

- ▶朝昼晩ときちんと食事をする！（調理もお手のものとか）、寝ている以外は動く！
- ▶「自分にできへんことは、子を産むことだけ（笑）」他はなんでもできるとのこと。

❗これからボランティアしようかな、と考えている方に一言

▶毎回来てる「ぼちボラの会」にもいろんな人がおるけど、しゃべってみたら案外楽しいねん。みんな、いろいろ経験してきてるやろ？その話を聞くのが面白いわ。ボランティアは自分の勉強のためになる。（何歳になっても）知らないことも知れる。単に参加するだけじゃなくて、自分の成長になるということを頭に入れとかなな～。



ぼちボラの会

8月6日(火) 10時から11時30分

尼社協ほっと館1階ロビー



- 当日参加できます（申込みなし）
- いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
- 持ちものは、ありません
- エコ封筒づくりや切手整理などをします
- ボランティアのご相談も、お気軽に！

8月は小学生も参加予定です！
さらに実習の大学生、園田学園
大学「つながーる」の大学生も
参加します。暑い中、気をつけて
お越しくださいねー♪

*9月は16日(火)の予定です！



✎“ボランティア”の現場から。⑮

ハンドベルとトーンチャイムの演奏グループ「アンサンブル ポピー」さんがボラセンで練習される日は、館内が心地よい、澄んだ音色に包まれます。約30年の活動の中で、高齢者施設等での演奏活動のほか、視覚障がいのある方のグループ「レインボーチャイムズ」とも、一緒に練習されています。

全盲の方には後ろから肩をたたいて音だしの合図、弱視の方には専用の色つき楽譜を使う等、ポピーのメンバーは汗だくになりながら、指揮者と音色、そしてレインボーのみなさんとの息を合わせていきます。

「下を向くといい音が出ないし届かないよ、肩の合図を信じて～」と指揮のメンバーから声かけがあり、単に合図を出す補助をしているのではなく、2人1組の信頼関係がなければ、安心した、素敵な音色に繋がらないんだと感じます。



現在は12月の発表会に向けて猛練習中ですが、それぞれの音階を担当できるだけの人がおらず、一人で複数の音を担当するメンバーの姿も…。音楽経験は不要ですが、音楽を通じた交流に、楽しみながら活動する方に参加してほしい！とメンバー絶賛募集中！

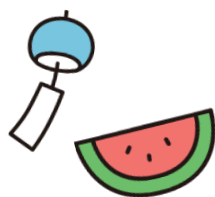
ボラセンでの月1回(月曜13～16時)の練習を中心に、毎週水曜の同時間、大庄や中央地域の生涯学習プラザでも練習中、見学からでも大歓迎ということです。詳しくはボラセンまで！



「共感」とは、どういうこと？

ボラセンでは、「共感」を大事にしています。似た言葉に「同情」がありますよね。でもこの二つは似ているようで、全く別物とご存じでしたか？「同情」は、相手に対して「気の毒に…かわいそうに…」という感情で、あわれみの気持ちを含んでいます。反対に「共感」は相手を肯定したり、応援したいと思う気持ちです。そのため、相手の立場に立って気持ちを理解し共有しようとする「共感」こそが、まさにボランティア活動をする時の原動力になり得るのだと思います。つまり「ほっておけない」「一緒にやりたい」といった自発的な気持ちが湧きあがった瞬間が、ボランティア活動へ参加する第一歩です。

コーディネーター
ひとりごと。



もちろん、「同情」の気持ちから始まるボランティア活動もあるかもしれません。でもそのまま「気の毒に…」というあわれみの気持ちのままではもったいない。その気持ちをアップグレードし、ボランティア活動へのエネルギーにして欲しいと考えます。ボラセンは、ボランティア活動が自分や相手の生活、今暮らしている地域が豊かな活動として、「共感」がベースとなってつむがれていくことを期待しています。

【つづける、つながる、“ちから”になる。】
いつも収集活動、ありがとうございます！

—順不同・敬称略—

【切手・プルタブ】

劉成朝/潮江・宮脇/吉田りん子/大正琴バンド万華鏡

【切手（整理含む）】

上田純子/竹下ひとみ/山下/尼崎マジック愛好会/ぶちとまとちゃん/タクマシステムコントロール(株)

【プルタブ】

福成会 清流園家族会/NPO法人神戸救急グループ/大源製薬(株)/子ども食堂晴れるや/山花日出美/なかよし食堂★/クボタ阪神ユニオン/山田実/次屋東福祉協会★/次屋南福祉協会/足立/梶ヶ島・中川様とそのお友達/川崎和恵/吉岡俊樹/稲葉荘社会福祉協議会/藤木芳博/武庫町1丁目町内会/宮地/沢本仁一郎/鍋倉淳夫/ニコニコキッチン/指の会/長谷川達雄/村上知佐子/柴田ひろ美/阪神尼崎ラジオ体操会/南武庫之荘はなみずき会

【発行】尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5 尼社協ぽっと館3階

電話 06-4950-8863 (平日9時～17時) / ファクシミリ 06-4950-8913 / メール amavc@dream.ocn.ne.jp

■「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。